平成30年度愛知県公衆衛生研究会　知事表彰演題選考要領

１　目的

　　本県の公衆衛生関係者の専門性を高めることを目的として、一般演題発表の中から、地域のニーズに基づく内容で、他の地域等においても参考になり、活用できる成果や、事業に結びつく可能性が示された優れた演題を選考し表彰する。

２　対象

　　平成30年度愛知県公衆衛生研究会で行われる全ての一般演題発表について審査を行う。

３　選考

　　知事表彰の選考の対象となる基準は、次に掲げるものとし、詳細は別表に定める。

（１）演題内容に関する基準

　　ア　論理性・客観性

　　イ　着眼点・独創性

　　ウ　有用性

　　エ　倫理的配慮

（２）抄録に関する基準

　　　構成・表現

（３）発表に関する基準

　　　発表態度・表現力

４　選考方法

（１）　発表の審査及び知事表彰演題の選考は、審査員が、選考基準に基づき審査する。

（２）　審査員は、原則として愛知県公衆衛生研究会企画委員（以下「企画委員」）が行うこととし、会長が指名する。ただし、会長が必要と認める場合は、企画委員以外であっても審査員として指名することができる。

（３）　各審査員は、別表の審査基準表に基づき、担当する部（演題区分２つ程度を１つのカテゴリーとし、これを「部」という。）の発表演題について、別紙様式１により採点を行う。なお、担当する部は、会長が定めるものとする。

（４）　各審査員は、１部につき１題、採点結果をもとに、最上位得点の演題を別紙様式２により知事表彰候補演題として推薦を行う。ただし、最上位得点の演題の採点結果が14点未満である場合には、推薦を行わないことができるものとする。

（５）　各審査員は、同じ部の演題を審査した他の審査員と協議の上、推薦された演題の中から、別紙様式３により知事表彰演題１題を原則として決定する。

５　発表

　　知事表彰演題の発表は、本研究会の閉会時に行い、後日賞状を授与する。

別表

審査基準表

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | | 評価の考え方 | 評点 | | | | | | |
| 加点 | | | | | | 減点 |
| 優れている | やや優れている | 標準的である | やや不十分である | 不十分である | |
| 演題内容 | 論理性・  客観性 | ・研究目的と方法及び結果との整合性がある。  ・科学的客観性に基づいている。 | ４ | ３ | ２ | １ | ０ | |  |
| 着眼点・  独創性 | ・日常の活動に基盤をおき、地域のニーズに基づき、研究的視点でまとめたものである。  ・先行研究の分析を踏まえ、独創性がある。 | ４ | ３ | ２ | １ | ０ | |  |
| 有用性 | ・他の地域等でも参考となり、活用できる研究成果が得られている。  ・事業化に結び付く可能性が示されている。  ・地域住民の健康の向上に直接的に寄与する結果が得られている。  ・結果が職員の資質の向上に資するものである。 | ４ | ３ | ２ | １ | ０ | |  |
| 倫理的配慮 | ・対象者のプライバシー等、倫理的な配慮に欠ける。 | ０ | | | | | | －２ |
| 抄録 | 構成・表現 | ・目的、方法、結果、考察、結論等がわかりやすく記載されている。  ・内容が的確に表現されている。  ・用語・表記がわかりやすくはっきりしており、またその使用も適切である。 | ４ | ３ | ２ | １ | ０ | |  |
| 発表 | 発表態度・  表現力 | ・発表資料に創意工夫がなされておりわかりやすい。  ・発表時間を守っている。  ・ポイントを押さえたわかりやすい説明である。  ・声の大きさ、速さ等が適当で聞き取りやすい。 | ４ | ３ | ２ | １ | ０ | |  |
| 小計 | | | 点 | | | | | 点 | |
| 合計 | | | 点 | | | | | | |

平成30年度愛知県公衆衛生研究会採点表

様式１

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 演題区分名 | | |  | | | | |
| 演題番号 | | |  |  |  |  |  |
| 演題  内容 | 論理性・客観性 | 採点 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 着眼点・独創性 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 有用性 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 倫理的配慮 | ０　　　－２ | ０　　　－２ | ０　　　－２ | ０　　　－２ | ０　　　－２ |
| 抄録 | 構成・表現 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 発表 | 発表態度・表現力 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 合計点 | | |  |  |  |  |  |

所属：　　　　　　　　　　氏名：

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 演題区分名 | | |  | | | | |
| 演題番号 | | |  |  |  |  |  |
| 演題  内容 | 論理性・客観性 | 採点 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 着眼点・独創性 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 有用性 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 倫理的配慮 | ０　　　－２ | ０　　　－２ | ０　　　－２ | ０　　　－２ | ０　　　－２ |
| 抄録 | 構成・表現 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 発表 | 発表態度・表現力 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 合計点 | | |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 演題区分名 | | |  | | | | |
| 演題番号 | | |  |  |  |  |  |
| 演題  内容 | 論理性・客観性 | 採点 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 着眼点・独創性 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 有用性 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 倫理的配慮 | ０　　　－２ | ０　　　－２ | ０　　　－２ | ０　　　－２ | ０　　　－２ |
| 抄録 | 構成・表現 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 発表 | 発表態度・表現力 | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ | ４　３　２　１　０ |
| 合計点 | | |  |  |  |  |  |

様式２

表彰候補演題推薦書

　部名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 推薦者 | （所属　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| 演題番号 |  | 推薦なし  最上位得点14点未満で推薦しない場合に〇 |
| 演題名 |  |
| 発表者氏名 |  |
| 発表者所属 |  |
| 特に評価  できる点 |  |
|  |
|  |
|  |
|  |

様式３

　表彰演題選出書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 部名 |  | |
| 演題番号 |  | 選出なし  （該当の場合に〇） |
| 演題名 |  |
| 発表者氏名 |  |
| 発表者所属 |  |
| 特に評価  できる点 |  |
|  |
|  |
|  |
|  |

（審査員氏名）　　　　　　　　　　　　　（所属）

（審査員氏名）　　　　　　　　　　　　　（所属）

（審査員氏名）　　　　　　　　　　　　　（所属）